



図書館HP



電子書籍

図書館探検ツアー 地下閉架書庫編

階段を下りて
Let's Start !!



スイッチをおすと書棚が動くよ！
図書館見学に来た子供たちに大人気！！

図書館員がハマる推し本

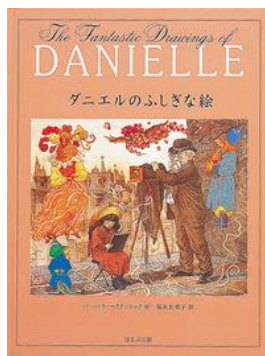
「ダニエルのふしぎな絵」 パーバラ・マクリントック作

福本友美子訳 出版社:ほるぷ出版

絵を描くのが大好きな女の子・ダニエルは、心に浮かぶままに不思議な絵を描きます。現実的な写真家のお父さんには理解ができません。しかし、仕事で落ち込むことがあった時には、ダニエルの不思議な絵が元気を与えてくれるのです。

ある日、病気になってしまったお父さんの代わりに、ダニエルは写真を撮りに行きます。そこで素敵な出会いが・・・

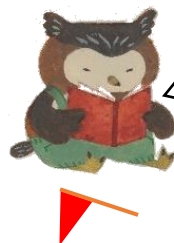
ダニエルを通して見る世界は、鮮やかで楽しい世界です。ダニエルとお父さんが互いに思いやり、認め合う気持ちが温かい、素敵なお話ですので、ぜひ親子で読んでみてください。(酒地)



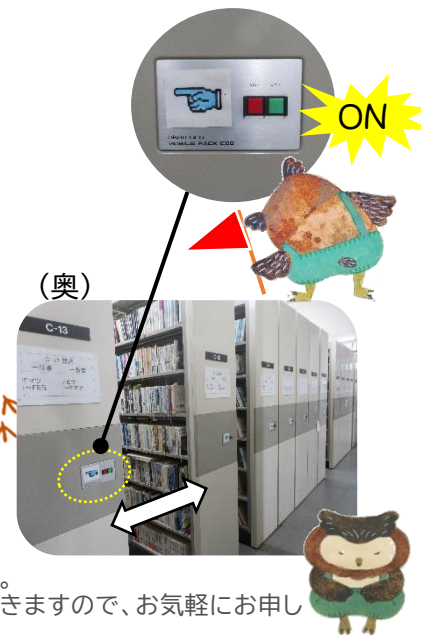
こたえ:移動図書館
(いどうとしょかん)



図書館の地下におりと閉架書庫があるよ！
古い本がたくさんだね～。
書庫の奥は移動式の電動書棚になっているよ。



閉架書庫には約19万冊の本があります。
ご利用いただく際には職員が取りに行きますので、お気軽にお申し付けください。



「夜を乗り越える」 著:又吉直樹 出版社:小学館



「あなたは何故本を読むのか考えたことはありますか？」

お笑い芸人でありながら芥川賞作家の著者が、少年期からこれまでに読んできた数々の小説を通して「なぜ人は本を読むのか」「文学の何が面白いのか」「文学って知的ぶりたいやつらが簡単なことをあえて回りくどく言ったり、小難しく言ったりして格好つけているだけでしょ？」という質問に対し真剣に考えてみました。

大ベストセラーになった芥川賞受賞作「火花」の創作秘話を初公開。「負のキャラクター」を演じ続けた少年が、文学に出会い、助けられ、いかに様々な夜を乗り越えてきたのかを顧みる、著者初の新書。読書に馴染みのない方に向けて書かれたそうですが、太宰治を始め近代文学・現代文学・エッセイなど多数の作品にも触れられており、本を読むのが好きな方にもオススメです。(小崎)

佐々木ひとみさん
(児童文学作家)

日立市
出身！

記念図書館開館60周年記念 文学講座
ふるさととは、たからのまち
～児童文学で未来に伝える～



記念図書館で撮影

ふるさと高原(たかはら)を舞台にした作品も書いている佐々木さん。本との出会いから児童文学作家になるまで、作品に込めた想い、未来に伝えたいことなどをお話いただきました。(2022.10.30(日)多賀図書館にて)

お客さまの声

・心が疲れている今、力をいただいた気がします。明日から毎日の生活の中でへこたれないよう、今日の話を思い出していこうと思います。

・佐々木さんのふるさとの思い、作品への愛情に心が温くなりました。写真とともにやさしい語りにも癒されました。改めて日立の町が大好きになりました。